

## 行政改革と人材育成 森林技術総合研修所長 城土 裕

新年度が始まって2ヶ月余りが過ぎ、研修もいよいよ本格化して、高尾の森は全国から集まった研修生で賑わいを見せています。

さて、5月末に、いわゆる「行政改革推進法」が成立し、今後、国と地方を通じて一層の行政改革が進められることとなりました。国有林は、その一部を独立行政法人に移管した上で、

一般会計に統合することを平成22年度末までに検討することとされ、また、民有林においては地方公務員の総人件費改革が進められる中において、国土保全や地球温暖化防止はもとより成熟する資源の有効活用等に向け、これまで以上に森林・林業施策の適切な実施が求められております。これら改革や施策の着実な推進に向けては、人材の育成が不可欠であると考えており、研修所としては、ニーズを踏まえた研修内容とそれに相応しい講師の確保等を通じて、最適な研修環境の整備・提供に全力で取り組む所存ですので、各方面のご理解とご協力をお願いいたします。



## 持続可能な森林経営が営まれている森林から

### 産出された木材を使用した家具を設置しました

総務課長 平沢 敏正



本年3月に当所の食堂及び宿泊室に真新しい木製家具が目見えしました。食堂には椅子60脚、テーブル15台、宿泊室には椅子104脚、本箱が112個です。これらは、いずれも持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材が使用されています。こうした家具を設置したのは、

現在、政府全体で公共施設等に木材利用を推進していることや、農林水産省木材利用拡大行動計画に基づき農林水産省自らの事業において率先して木材利用を推進していること、グリーン購入法に基づく基本方針が改定されることなどを受けて、当所としても導入に積極的に取り組んだものです。これらの家具には、森林認証（FSC）を受けている速水林業（三重県）と九州電力社有林のヒノキの間伐材が使用され、また、製造は同じくFSCのCoC認証を取得している佐賀県の中村製材所が中心となって行われました。

今回の木製家具の導入により、食堂の雰囲気も見違えるほど明るく、暖かい感じになりました。全国から訪れる研修生の皆さん、憩いの場としてこれまで以上に活用してください。

